

制度・歴史グループ 西洋経済史

European Economic History

伊藤カナナ

Kanna ITO

研究紹介

1. 戦後の国際協調体制が、加盟国の国内政策運営にどのような制約や影響を与えたかを、IMF, IBRD, EU, イタリア, USAの一次史料から検証する。
2. 地域的経済統合・グローバル化に伴う地域経済格差の拡大とその是正策について、1950年代以降の開発政策と国際資金フローの実態解明から検証する。
3. 国家と市場との関わりについて、20世紀のイタリア経済を特徴づけた世界有数のコングロマリット、国家持株会社IRIの経営と民営化の内容を検証し、考察する。

KEY WORDS

State intervention, Bank bailout, Corporate turnaround, State-owned enterprise, State holding company, Privatization, International policy cooperation, Bretton Woods Order, Economic integration, Economic disparities, Regional development policy, Italy, EU, IMF, IBRD